



基本操作テクニック&110番





基本 A



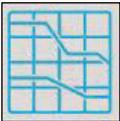
デスクトップにある「TrueFit」をダブルクリック
🖱️🖱️ します。



基本 B 新規顧客の入力をします。

- 1 **新規顧客** をクリック 🖱️ します。
- 2 **名*、姓*、性別、生年月日** を入力 🖱️ します。
※ * がついている「名」「姓」の部分は必ずご入力ください。
※ 性別・生年月日の入力により、フィッティングの精度が向上します。
- 3 **保存** をクリック 🖱️ します。
- 4 **新セッション** をクリック 🖱️ します。

※ **再調整** の場合は、顧客の検索をします。
検索して表示された氏名をダブルクリック 🖱️🖱️ します。もしくは、検索ウインドウの横にある「**全てを表示**」をクリック 🖱️ して探します。



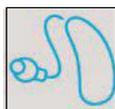
基本 C オージオグラムの入力をします。

- 1 **オージオグラム** をクリック 🖱️ します。
- 2 クリック 🖱️ しながら聴力を入力します。

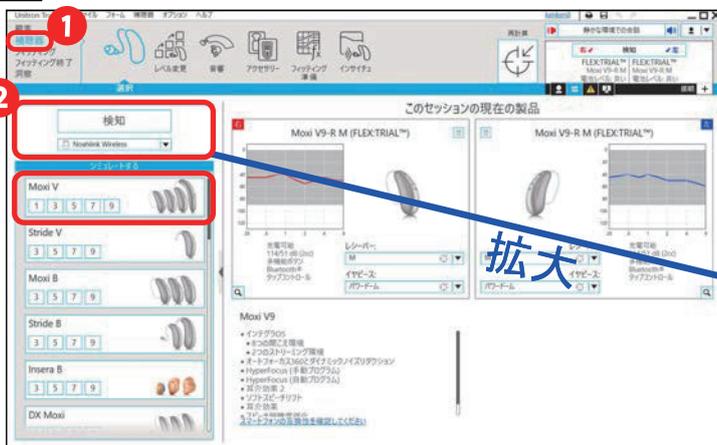
拡大

コピー 削除

unitron™ Vivante シリーズ『110番』①



Step I 補聴器を接続します。



① **補聴器** をクリック します。

② Noahlinkワイヤレスが選択された状態で **検知** をクリック します。



※ Moxi V-R / RS / Stride VIは Noahlinkワイヤレスのみで接続できます。



③ 検出された補聴器の左右を選択します。

※ 補聴器のピープ音を鳴らすか、補聴器のプッシュボタンを押して画面のリストをハイライトさせて確認する事が出来ます。

④ **続行** をクリック します。

⑤ **続行** をクリック します。



※ この表示が出た場合は、補聴器本体のファームウェアをアップデートしてください。アップデートの方法については15ページをご参照ください。



⑥ **新しいフィットिंगを作成** をクリック し、選択します。

⑦ **続行** をクリック します。

⑧ **閉じる** をクリック します。



初回フィットिंग時、接続後に「初期設定」ウインドウが表示され流れに沿って選択していくことで初期設定が可能です。
※ 詳細は3ページを参照ください。

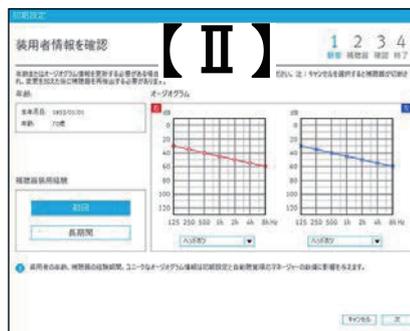
unitron™ Vivante シリーズ『110番』②



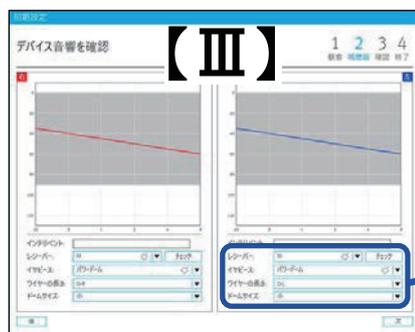
「初期設定」ウィンドウ



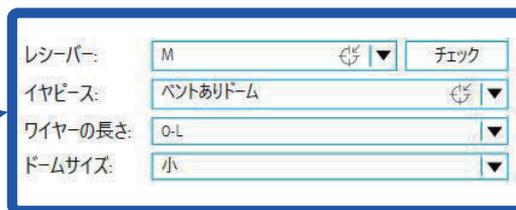
I Flexの場合は製品レベルの選択(変更)が行えます。
(Flex以外はIIからスタートします。)



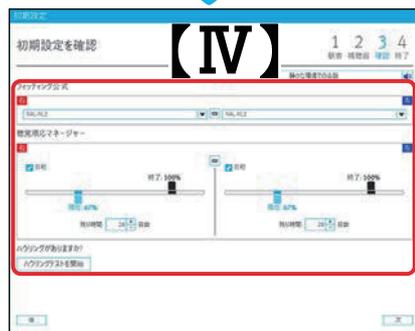
II 補聴器装着経験の選択が行えます。
「キャンセル」をクリックすると接続が解除され、顧客情報の修正が行えるようになります。



III チューブやイヤピース等の選択が行えます。



☞のついているものが推奨のものになります。

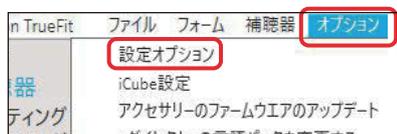


IV フィッティング公式や聴覚順応マネージャーの確認・変更、ハウリングテスト等が行えます。



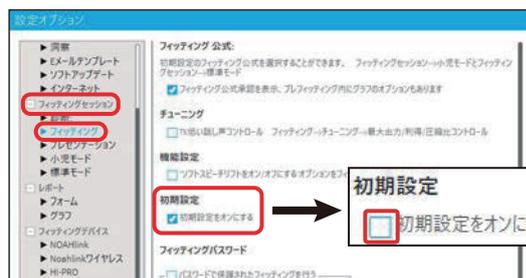
V 以上で初期設定は完了です。次に移動するページを選択できます。

「初期設定」のポップアップを表示させないには、以下の手順で設定を変更してください。



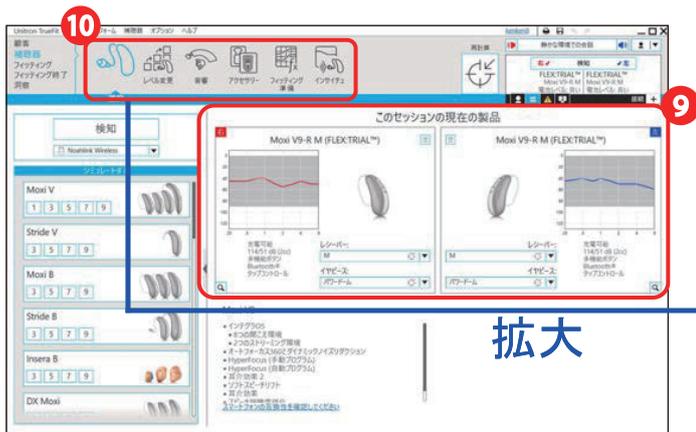
画面上部の「オプション」から、「設定オプション」を選択します。

ウィンドウが開きますので…



「フィッティングセッション」部分「フィッティング」内の、「初期設定」のチェックを外します。

unitron Vivante™ シリーズ『110番』③

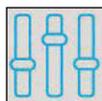


- ⑨ 補聴器の接続が完了し、接続されている製品情報が表示されます。
- ⑩ 音響、アクセサリなどの調整ができます。

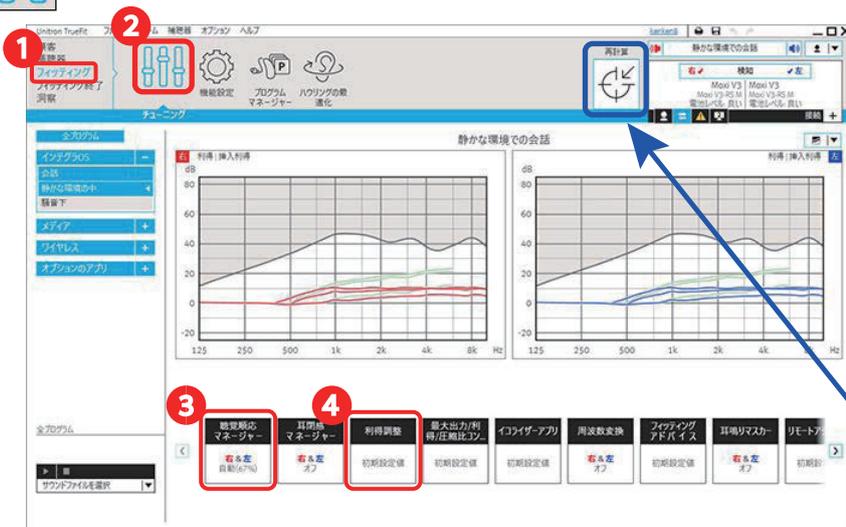


ポイント

- * 再調整の場合は2ページの⑥にて、このセッションのフィッティングを使うを選択し、クリック🖱️します。
- * 一度選択した補聴器を削除したい場合は⑨にて、 (削除)をクリック🖱️します。
- * 音響をクリック🖱️すると、チューブやイヤピース等の設定ができます。
- * アクセサリをクリック🖱️すると、TVコネクターやRemote Plusをフィッティングに登録する事ができます。
- * リニア設定にしたい場合は フィッティング準備をクリック🖱️し、フィッティング公式を DSL へ変更していただくと、プロセス処理で「リニア」が選択できるようになります。



Step II まず、自動調整と音量調整・最大出力の調整をします。



- ① フィッティング をクリック🖱️します。
- ② チューニング をクリック🖱️します。

ポイント

(オレンジ)に変わったら、自動調整が必要です。



マークをクリックします。



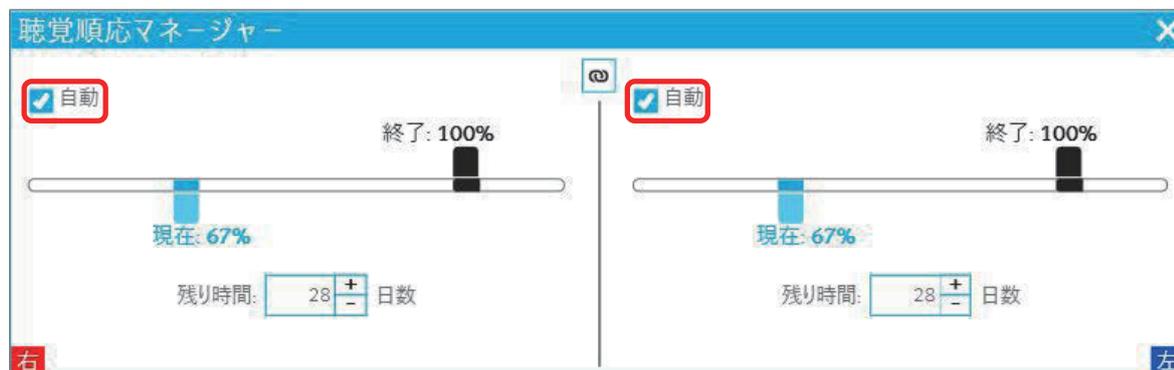
unitron™ Vivante シリーズ『110番』④



③ 聴覚順応マネージャー をクリック[👂]します。

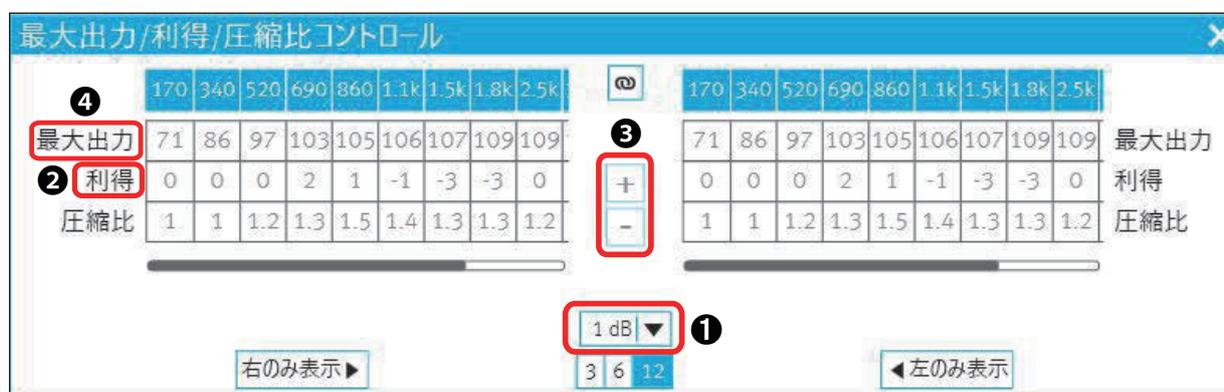
オーディオグラムに対して、現在の%が表示されます。自動をクリック[👂]し、にします。

*自動的に補聴器の利得を目標利得へ移行させたい場合は、チェックを外さないでください。



目標ターゲット(自動調整値)に対しての現在の聴力の値(%)を目安に、小さめで聞きやすい音量からのスタートが可能です。

④ 最大出力/利得/圧縮比コントロール をクリック[👂]します。



「お客様の好みの音量にします。」「周りの音などが響かないようにします。」

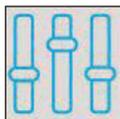
★① 1 dB▼の▼をクリック[👂]し、増減幅を 1 dB・2 dB・3 dB より選択します。

★② 好みの音量は、全体的な利得を調整します。利得をクリック[👂]します。

★③ + (上げる) / - (下げる) を必要な数クリック[👂]します。

★④ 周りの音など響かないようにするには
最大出力をクリック[👂]し、「-」側を響かなくなるまでクリック[👂]します。

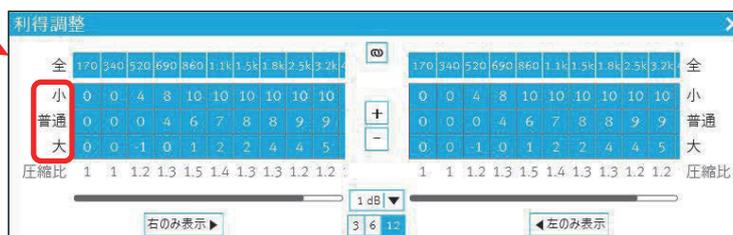
unitron™ Vivante シリーズ『110番』⑤



Step III グラフを見ながら、微調整していきます。



- ① **利得調整**
をクリック🖱️します。

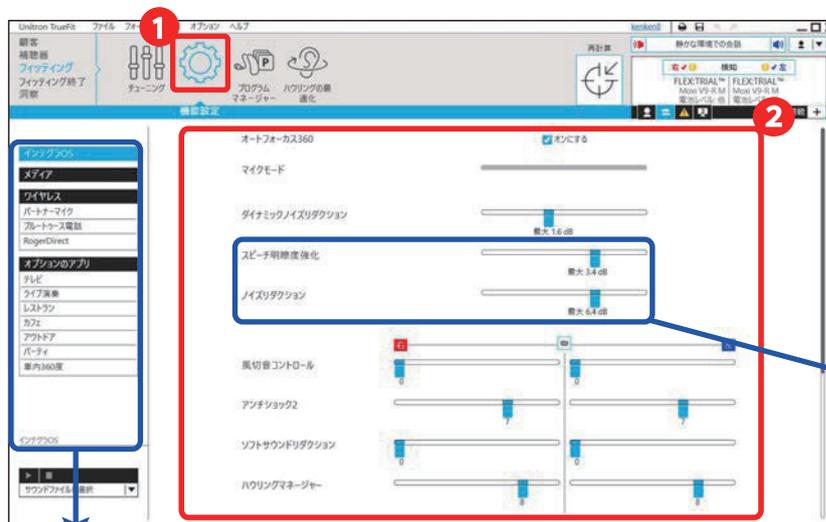


ポイント

- * **小**をクリック🖱️すると、小さい（遠くの）声 / 2m以上離れた音全体の調整をします。
- * **普通**をクリック🖱️すると、普通の声（1～2m） / 1～2mの音全体の調整をします。
- * **大**をクリック🖱️すると、耳元30cmの声 / 自声 / 1m以内の音全体を調整します。
- * 周波数ごとの調整は、**最上段の数字部分** または **小/普通/大** の間にある数値をクリック🖱️します。

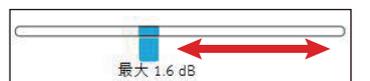


Step IV 機能設定で、補聴器の特徴を設定します。



- ① **機能設定**
をクリック🖱️します。
- ② **インテグラOS** の
画面が表示されます。

スピーチ明瞭度強化と ノイズリダクションを調整



- ▶ カーソルを右に動かす
…スピーチ明瞭度・ノイズリダクション効果が
強くなります
- ▶ カーソルを左に動かす
…スピーチ明瞭度・ノイズリダクション効果が
弱くなります

各機能を選択する箇所

unitron™ Vivante™ シリーズ『110番』⑥



補聴器マイクからの音を聴く場合は

インテグラOS

が起動します。



従来より一つ増えて最大で8つの環境を識別して、自動的に最適な聞こえに合わせる機能。

会話の背景にある環境音を察知・識別してスムーズに切り替わります。

製品レベルごとのサウンドナビ対応表

製品レベル	Vivante 9	Vivante 7	Vivante 5	Vivante 3	Vivante 1
サウンドナビ環境数	8	6	4	2	無し オートマイクのみ
静かな環境での会話	●	●	●	●	
騒音下での会話	●	●	●	●	
静か	●	●	●		
騒音	●	●	●		
少人数での会話	●	●			
音楽	●	●			
多人数での会話	●				
大きな騒音下での会話 New	●				

スマホなどBluetooth機器の音楽や動画を聴く場合は

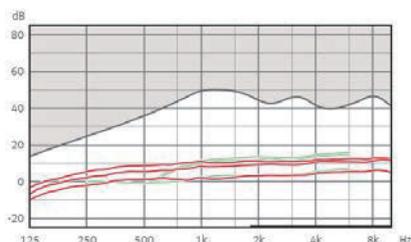
メディアセンスOS

が起動します。



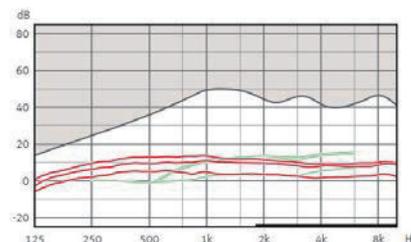
① メディア 会話

… 映画や動画を観る場合に、聴きやすい設定値になります。



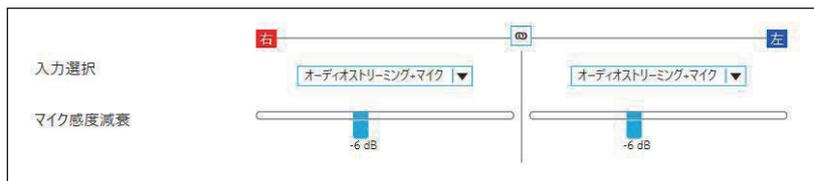
② メディア 音楽

… 音楽を聴く場合に、聴きやすい設定値になります。



※利得だけでなく、IntegraOSの設定もそれぞれに適應されています。

機能設定の入力値では、ストリーミングとマイク音量における、バランス調整もできます。

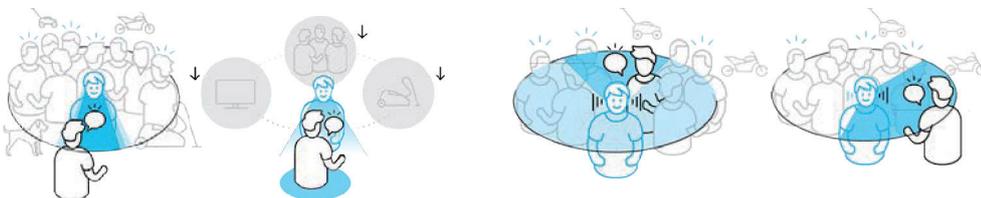


ハイパーフォーカス、オートフォーカス

※両耳装着時

ハイパーフォーカス (Vivante 9)

音声環境を認識し、特に大きな雑音下において、ダイナミックノイズリダクションとの連動で前方から来る会話をより聞こえやすくします。360度の音源位置により両耳の補聴器がそれぞれ自動調整され、装用者の音源位置特定が容易にできるようになります。大きな雑音下の会話でない場合についてはオートフォーカス360が作動します。



オートフォーカス (Vivante 7)

前面180度の会話を認識します。ダイナミックノイズリダクションとの連動で、前方から来る会話をより聞こえやすくします。



ソフトスピーチリフト(語音強調)(Vivante 9 / 7 / 5)

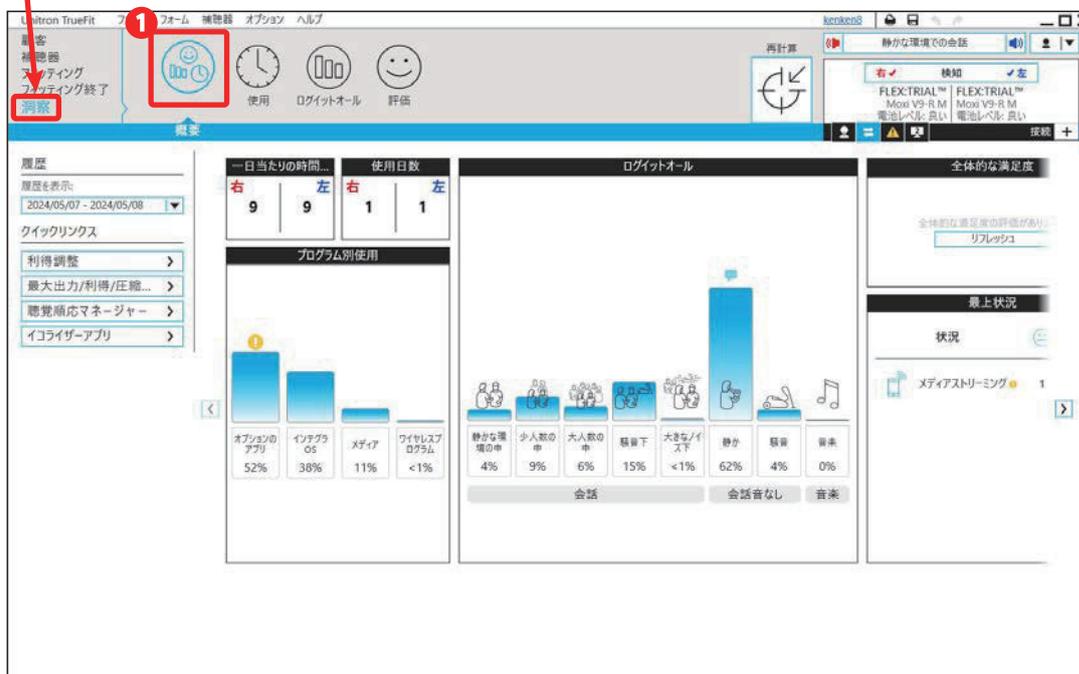
小さい声を強調し、言葉の抑揚の微妙な差異をより際立たせ、言葉のニュアンスをわかりやすくします。

unitron™ Vivante シリーズ『110番』⑦



Step V 洞察

「洞察」をクリックすると、お客様の使用状況に関するデータを見ることができます。



① 概要

使用状況、ライフスタイル(ログイットオール)、着用者評価を一度に確認することができます。

② 使用(データロギング)



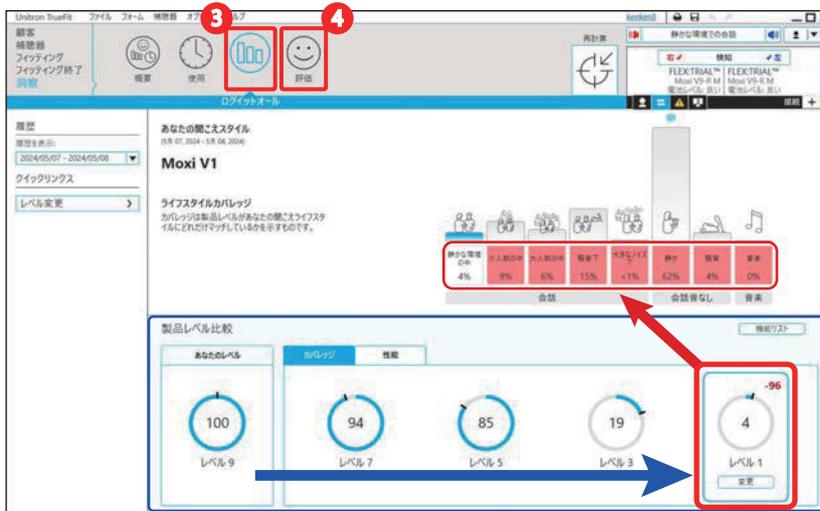
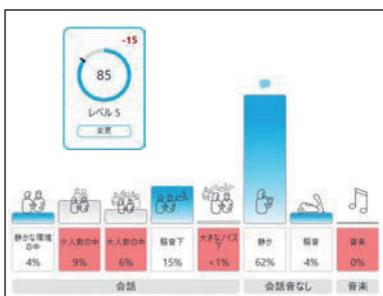
この棒グラフは、インテグラOS・手動プログラム・ワイヤレスプログラムを使用した時間の割合を示しています。データの詳細は、棒グラフの下で名称をクリックすると確認することができます。

unitron™ Vivante™ シリーズ『110番』⑧



③ ライフスタイル(ログイットオール)

この棒グラフは装用者が日常生活の中においてそれぞれの聞こえの環境で過ごした時間の割合を示しています。



※ 製品レベルを **高** ⇒ **低** にすると、対応のない環境の名称部分が赤色となり、対応する白い部分のどこかに振り分けられてしまうことを示します。(振り分けはその都度変わる可能性があります。) 逆に **低** ⇒ **高** をクリックすると、選択したレベルのグラフの中で利用できる環境が追加されます。(環境の白い部分が増える)

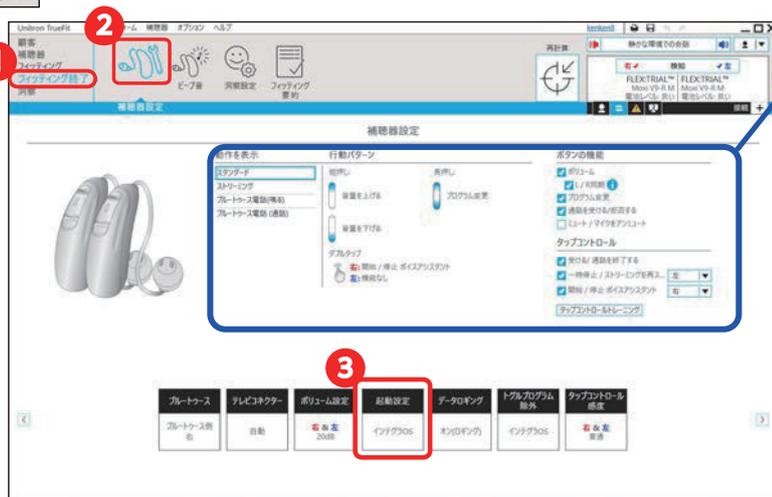
④ 評価 (※ ご利用の際はインターネットへの接続と個人で「My Unitron」への登録が必要です。)

ユニトロンサーバー上にある、装用者が Remote Plusアプリを使用して入力したコメントや評価をオンラインで見ることができる機能です。装用者が来店されていなくても確認することができます。



StepVI 遅延起動設定をします。

プッシュボタンの操作確認や、タップコントロール(充電タイプのみ)の操作確認ができます。



① フィッティング終了

をクリック👉します。

② 補聴器設定

をクリック👉します。

③ 起動設定

をクリック👉します。

④ 起動時のプログラムを選択します。(初期設定:インテグラOS)

⑤ 補聴器の起動時間を選択します。(最小 / 10秒遅延 / 15秒遅延)

⑥ 充電タイプはチェックが入っている状態であることを確認します。



これは...

チェックを外すと、充電器の出し入れで補聴器の電源をオン・オフすることができなくなります。

※手動操作のみになります。



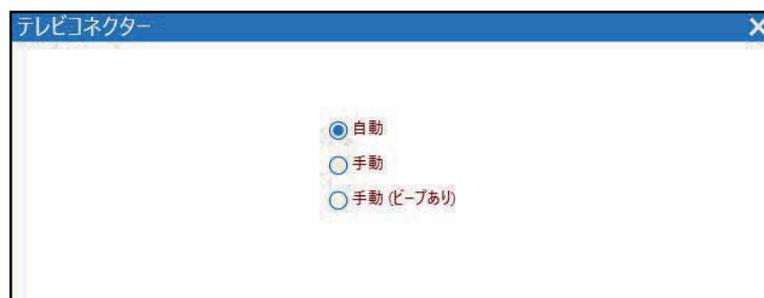
7 Bluetooth



Bluetoothとペアリングさせたい補聴器の左右を選択できます。
(電話等の接続は片耳=初期設定は右耳になります。)

Bluetooth機器に表示させる補聴器の名称を変更できます。

8 テレビコネクター



テレビコネクターへの切り替え方法を選択できます。

自動: 接続範囲内に入ったら自動的に切り替えます。

手動: 接続範囲内に入っても自動的に切り替わらず、補聴器のプッシュボタンを押して切り替えます。

手動(ビープあり): 接続範囲内に入ったことをビープ音で知らせますが切り替えは補聴器のプッシュボタンでおこないます。

9 プッシュボタンの動作確認

補聴器の各機能使用時のプッシュボタンの動作や機能の確認ができます。(器種により項目が変わります。)

・ **スタンダード**…通常補聴器使用時の音量 / プログラム変更方法



・ **Bluetooth電話 (鳴る)** …電話の受話・拒否方法



・ **ストリーミング**…TVコネクター / Bluetooth機器使用時の音量やプログラム変更方法



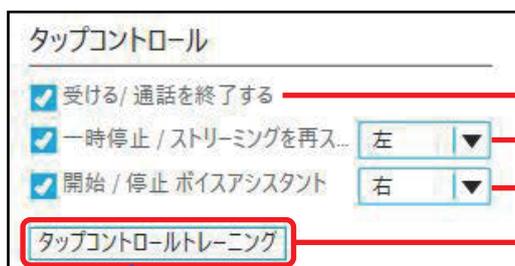
・ **Bluetooth電話 (通話)** …通話音量の調整・通話終了方法





タップコントロールについて

Blu / Vivanteの 充電式タイプ には「タップコントロール」と呼ばれる機能が追加されました。例えば今までの補聴器では、電話に出たい場合にはプッシュボタンを操作して出ていましたが Vivanteは補聴器部分を2回指でタップすると通話できます。ストリーミングやボイスアシスタント機能にも対応しています。補聴器の動作によりタップして対応できる内容が違います。それぞれの「行動パターン」部分に表示されますのでご確認ください。



電話通話の開始 / 終了

ストリーミングの一時停止 / 再スタート(左右選択)

ボイスアシスタントの開始 / 停止(左右選択)

タップコントロールのトレーニング



タップコントロールの練習をしてみましょう。

上記「タップコントロールトレーニング」をクリックすると、このウィンドウが開きます。

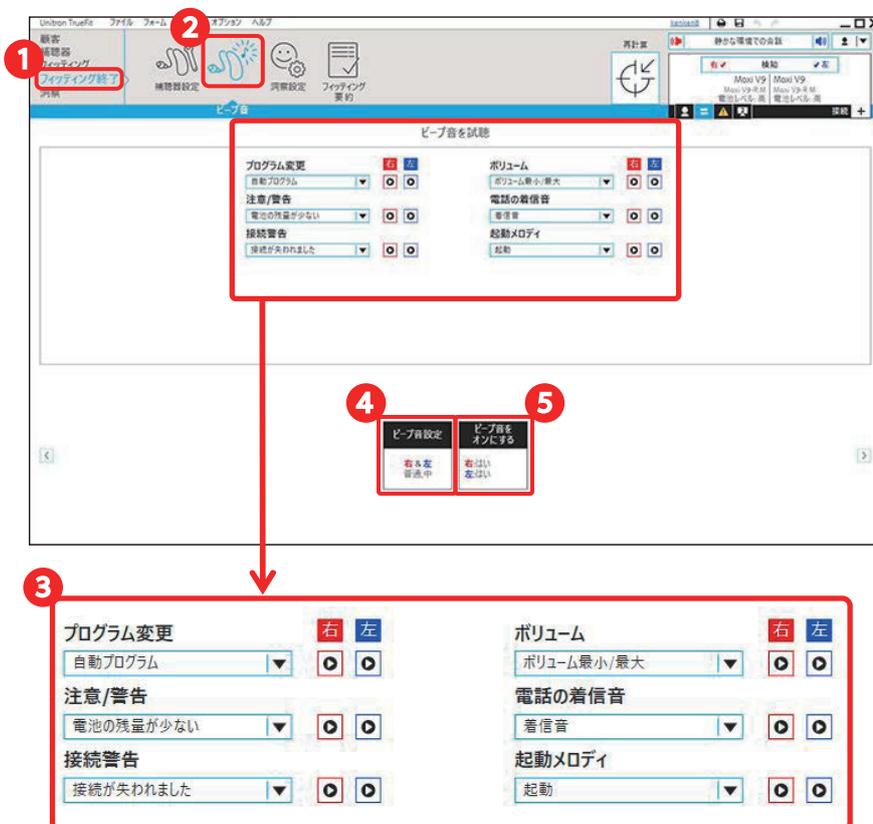
開いたらトレーニングを開始してください。

ダブルタップが成功したらグリーンのレ点が表示され、横の「成功したダブルタップ=」の数字が増えていきます。終了する場合は、右下の「停止」ボタンをクリックします。

unitron™ Vivante シリーズ『110番』 ⑪



Step VII ビープ音の確認をします。



① **フィッティング終了**
をクリック します。

② **ビープ音**
をクリック します。

③ 試聴させたいビープ音
を選択します。



再生ボタンで
お客様に聴いて
いただきます。

ポイント

起動メロディ(補聴器の起動音)と、**注意/警告**(電池の残量低下のお知らせ音)は必ず確認してください。プログラム変更(プログラムの設定を変更する音)は、プログラムを設定した場合には必ず確認していただくようにしてください。

④ ビープ音の調整をしたい時



強さ(音量): 最小 / 低 / 普通 / 大 / 最大
周波数(高さ): 低 / 中 / 高

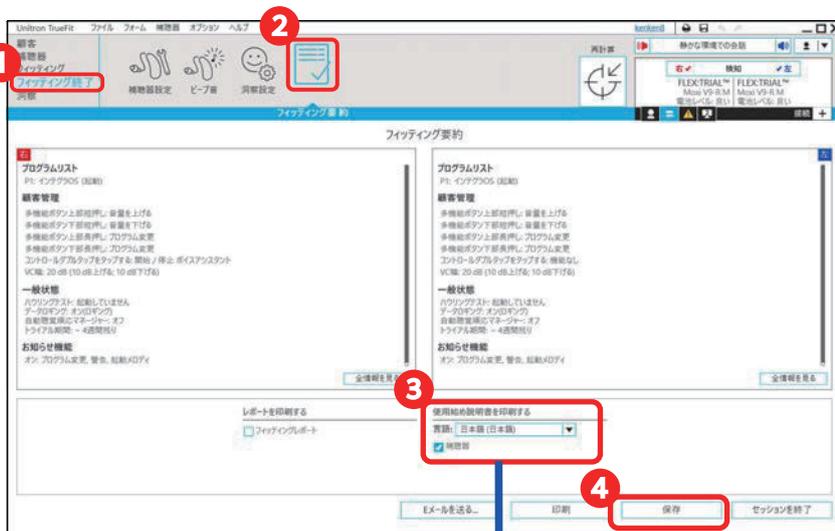
⑤ 必要ないビープ音を消したい時



必要のないビープ音は を にします。



Step VIII 補聴器とデータを保存します。

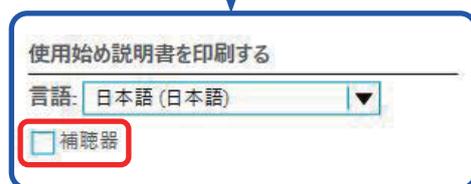


① **フィッティング終了**をクリックします。

② **フィッティング要約**をクリックします。

③ 使用始め説明書を印刷するの **補聴器**を にします。

④ **保存**をクリックします。



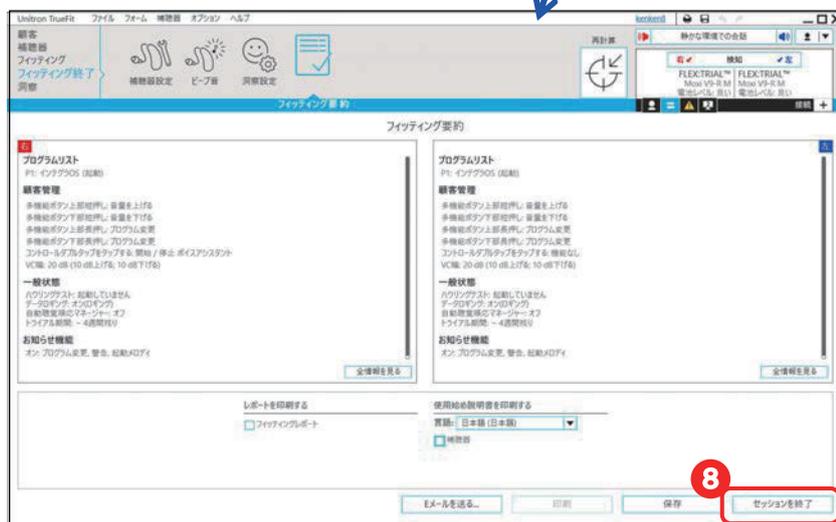
⑤ 保存の必要がない箇所を にします。
初期状態は、どちらもチェックが入っています。



⑥ **保存**をクリックします。



⑦ 「保存に成功しました」を確認後、**閉じる**をクリックします。



⑧ 最後は、**セッションを終了**をクリックします。



Step IX 逆位相ハウリング対策は、最初から有効になっています。 ハウリングが出た場合のみ、以下の作業をしてください。



1 **フィッティング**
をクリック します。

2 **ハウリングの最適化**
をクリック します。

3 左右それぞれで
ハウリングテストを開始
をクリック します。

4 **続行** をクリック します。
テストが始まります。

異なるいくつかのトーンが
聞こえてきます。

テストが終了します。



5 終了後、**適用し完了**
をクリック します。

6 ハウリングが起きている部分に
黒線が表示されます。

※ 利得をハウリングカーブよりも5 dB上げることが可能になりました。
グラフ下のチェックボックスにチェックを入れると、5 dBの幅で色がついた部分下側がハウリングカーブ状態、上側が上がった状態です。



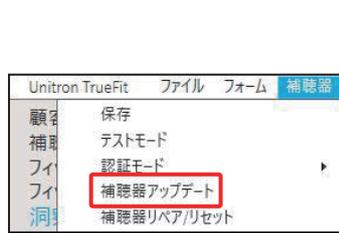
ポイント

- ***静かな環境**で、耳に補聴器を装着します。
- ***黒線**は、ハウリングが発生する前のギリギリの最大利得です。
- ***細い緑線**は、ターゲット利得です。
- ***赤／青線**は、補聴器装用利得です。

unitron™ Vivante™ シリーズ『110番』付録



補足 補聴器のファームウェアをアップデートする



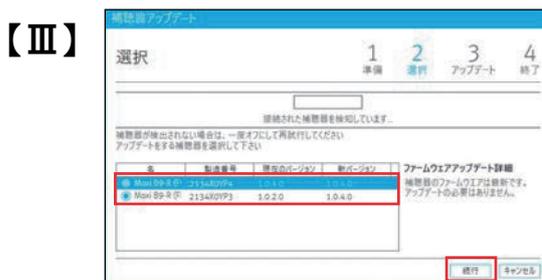
補聴器接続時に「ファームウェアのアップデート」指示が出た場合左上の「補聴器」をクリックして「補聴器アップデート」をクリックします。



Ⅰ インターフェイスの確認をします。「続行」をクリックします。



Ⅱ 確認事項が表示されます。確認後「続行」をクリックします。



Ⅲ アップデートしたい補聴器を選択します。両耳の場合、片耳ずつの対応になります。「続行」をクリックします。



Ⅳ アップデートを実行します。アップデートが完了するまでしばらく待ちます。



Ⅴ 以上でアップデートは完了です。両耳の場合、もう片方をアップデートするために「やり直し」をクリックします。手順Ⅲに戻りますので再度同じ動作を行ってください。1台だけなら「終了」をクリックします。